

## 今後のプロジェクト方針

2022年6月末のプロジェクト終了までに残された期間は1年とわずか。それまでにプロジェクトが力を注ぐべきポイントが4月のプロジェクト実務者会議(プロジェクト会議)で議論・整理されました。今回は、今後の方向性について報告します。



郡普及員向け稲作指導研修

### 地方行政分野

- 1) 参加型農業推進委員会(PAPC)の本格的始動と継続面の強化
- 2) 「参加型農業(PAD)」持続のための予算的裏付け
- 3) 県・郡レベルでのプロジェクト活動のモニタリング・評価体制の強化

PAPCを運営の中心として機能させることで、プロジェクト終了後もラオス側が主体的かつ持続的に参加型農業(PAD)を推進できることを目指します。

活動が継続できるよう、予算をどこから、どのように確保していくかを検討します。

### 灌漑/水利組織強化分野

運営能力、技術力の向上による水利組織の強化

- 1) 運営能力面： 会合による問題把握・解決、会計簿の管理、水利費の徴収
- 2) 技術力面： 公平な配水、適切な施設管理
- 3) その他： レビューミーティングの開催

配水計画会議  
(ノンブアルアン地区)



各地区の水利組織が、実施してきた活動を振り返り、反省点や教訓を他の地区と共有します。

### 農業技術(稲作)分野

- 1) 種子・肥料貸与事業の課題解決
- 2) 普及員の能力強化
- 3) 病虫害への対応強化
- 4) 種子生産における基本的技術の向上
- 5) モデル農家の強化

まだ課題の残る資金回収の遅れや、今後の資金運用の持続性などに対応します。

具体的には、郡普及員を対象とした試験ほ場やスタディツアーなどを実施します。

病虫害分野の短期専門家派遣や実践的な研修を通じて強化を図る予定です。

農家に対する研修やスタディツアーなどを実施します。

## マーケティング／園芸栽培分野

### マーケティング関連

- 1) 農民組織の強化、販売促進の強化

農家から回収した雨除けハウスの材料費を元にした基金の有効活用や、市場ニーズと農家ニーズのマッチング活動などを行います。

### 園芸栽培関連

- 1) 基本的な園芸栽培技術の強化
- 2) 種子生産の導入

地理的に市場から遠い地区もあるため、輸送や保管に有利なタネの生産を試みます。

## 他県への普及など

- 1) ガイドブックの改定
- 2) 「参加型農業(PAD)」紹介のためのセミナー開催
- 3) 他県からの視察団招聘



他県への PAD 紹介は随時行っている  
(チャンパサック県農林局にて)

## 郡普及員による試験ほ場

当プロジェクトでは、郡農林事務所の普及員によるコメ栽培の能力強化のため、試験ほ場を設置し、そこでテーマを決めて試験栽培することを支援しています。

例えば、ソンコン郡の普及員は、苗の生育日数の違い(14 日苗～42 日苗)について実証試験を行っているところです。



ソンコン郡の試験ほ場(TDK8 品種/35 日苗)

## 新専門家紹介 - 大里専門家(マーケティング/園芸栽培)



当分野は、これまでのマーケティング分野に加え、今後は園芸栽培技術の向上にも力を注いでいきます。例えば、堆肥づくりや各野菜の品種ごとに適した栽培技術、そして野菜のタネの生産技術などにおいてレベルアップを図っていきたく考えています。

また、消費者のニーズに応えるだけでなく、農家の現状を消費者に理解してもらうために交流活動も行っていく予定です。

農業短大でアスパラガスの特性を指導する大里専門家  
(左から2人目)